

時は今

—今こそ、本気になって、日本最古の学校、足利学校のある街にふさわしい教育を—

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに—日本の教育の現状

- (1) OECD PISA……上位
- (2) 3.11東日本大震災、阪神大震災の時の国民の立居振舞いは立派
……日本の教育の成果
- (3) 20年にも及ぶ経済停滞……社会は正常に機能
- (4) 世界一の長寿国

以上は、国民の教育の成果、全世界から高く評価され、素晴らしい。

2. これからの世界で求められる鍵になるような基本的能力（キーコンピテンシーズ）

- (1) 知識基盤型社会……知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力
- (2) グローバル化社会……多様な集団で行動する能力
- (3) 課題山積社会……自律的に活動する能力

以上の前提条件となる能力

- (4) 学習の学習（Learning To Learn）の能力を身に付けていること。
- (5) 読書により思慮深さを身に付けていること。

3. 足利市の教育の課題

- (1) 市民の希望は、日本最古の学校、足利学校のある街にふさわしい教育。
- (2) 具体的には、両毛5都市の中で抜きん出て質の高い教育。

- | | | |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 学校教育② 家庭教育③ 社会教育 | } | すべての分野で日本一を目指してもらいたいこと。
そのために先生とよばれる方々が全力を尽くすこと。 |
|--|---|---|

4. 産業界や市民ができること。

- (1) 市民総がかりで、論語教育を行うこと。
 - ・ 幼児から超高齢者まで論語を素読し、人徳すぐれた人を目指す。
- (2) 街中（まちじゅう）図書館、自分の図書を地域に開放し、自分の責任で図書館を開設、運営すること。
- (3) 自分の仕事や社会的活動を使命感に基づいて自己責任、自助努力で行い、自らの責務を全うすること。
- (4) 企業は、赤字企業から脱却し、一円でも納税し、教育を含め社会の基盤整備に用いてもらうこと。
- (5) いつまでも若々しく生き、社会の負荷をできるだけ少なくすること。（高齢者の定義を人口と15～20%とすること。）
- (6) 学校の先生方には、学校教育に専念して頂けるような環境を整備すること。

5. おわりにー時は今ー

- (1) 先生方は、志を高く持ち、日本一の質の高い教育を目指して頂きたい。
- (2) やるべきことは断固やり抜いて頂きたい。
- (3) 足利の運命、未来は、自分達が変わる位の強い使命感をもって、各々の学校教育に当たって頂きたい。
- (4) 様々なアクター（役割を持つ人々）が、力を合わせ、足利の教育を共に創り出す（共創の精神が大切かと考える）

以上

— 2012年3月24日記 —